

富山県上市カヌー競技場指定管理者仕様書

富山県上市カヌー競技場（以下「カヌー競技場」という。）の指定管理者が行う業務の範囲及び内容等は、この仕様書による。

1 趣旨

この仕様書は、カヌー競技場の指定管理者が行う業務の内容及び履行方法について定めることを目的とする。

2 法令等の遵守

カヌー競技場の管理に当たっては、この仕様書のほか、次に掲げる法令等に基づき実施する。

- (1) 地方自治法
- (2) 富山県営体育施設条例
- (3) 富山県営体育施設条例施行規則
- (4) 個人情報の保護に関する法律
- (5) 労働基準法、労働安全衛生法、その他労働関係法令
- (6) その他の関係法令（施設の安全確保のための各種規則法令等）

3 業務の範囲・内容

(1) 職員の配置

業務に支障のないように職員を適正に配置するとともに、育成・資質向上を図るため必要な研修等を実施すること。

(2) 有資格者等の配置

- ア カヌーの専門用語、艇の選択、乗り方及び漕ぎ方等、カヌー競技の専門的知識を有し、競技の普及と振興を推進する専門員を冬期休業日を除き、1人以上配置する。
- イ 国土交通大臣発行の小型船舶操縦免許2級5トン限定以上の資格を有する者を1人配置する。（アと同一の者が兼ねることも差し支えない。）

(3) 施設の維持管理

ア 危機管理対応

(ア) 予防対策

自然災害、人為災害、事故等あらゆる緊急・非常・不測の事態に対しては危機管理体制を構築するとともに、対応マニュアルを作成し、災害時の対応について随時訓練を実施すること。また、消防署等からの指摘があった場合には、直ちに改善措置を講ずること。

(イ) 災害対応

上記災害等の際には、遅滞なく適切な措置を講じたうえ、県をはじめ関係機関へ連絡を行うこと。

(ウ) 避難所等となった場合の運営協力

施設所在市町村が避難所等として使用する際には、避難所等の管理・運営に協力すること。

イ 消防法に定める防火管理者（甲種）を配置するとともに、防災訓練を実施し緊急時に備える。

ウ 施設の管理業務日誌等、諸帳簿を作成し、必要に応じて県に提出する。

エ 健康増進法による受動喫煙防止対策として、館内は全面禁煙とする。

(4) 設備機器の維持管理

常に善良な管理者の注意義務をもって管理し、適正な利用に供するよう日常及び定期点検を行い、必要に応じて部品交換や補修・修繕を行う。

なお本仕様書は、募集に際して必要とされる業務の標準を示したものである。作業回数等の定めのない業務については、設備機器の稼動状況等に応じ、指定管理者が適宜判断して行うこと。

ア 設備機器運転管理業務

(ア) 設備機器の運転操作及び監視

(イ) 設備の維持管理（日常巡視点検、定期点検、整備補修）

(ウ) 設備に関する臨機の措置

(エ) 環境衛生管理業務

(オ) 法定検査及び報告

イ 浄化槽保守点検管理業務

(ア) 水質検査（年1回）

a 水素イオン濃度（PH）

b 溶存酸素量（DO）

c 透視度（SS）

d 残留塩素濃度

e 生物化学的酸素要求量（BOD）

(イ) 保守点検（年3回（3ヶ月に1回））

浄化槽法及び同法施行規則第2条に定める保守点検の技術上の基準に基づき実施する。

(ウ) 清掃業務（年1回）

(エ) その他の業務（随時）

ばっ気室・沈殿室の処理機能点検、薬剤の注入、モーター機器の絶縁試験等

(オ) 設備機器

分離接触バッキ方式（30人槽）

ウ 受水槽保守点検管理業務

(ア) 業務内容

次亜塩素酸ナトリウムにより清掃する。

(イ) 定期検査（年1回）

建築物の衛生的環境の確保に関する法律（ビル管理法）に定める水質検査基準に

基づき実施する。

(ウ) 設備機器

ステンレス 3 m³ 1 槽

エ 消防設備保守点検管理業務

(ア) 定期点検（機器点検、総合点検、それぞれ年 1 回）

消防法及びその他関係諸法令規則に定める保守点検の技術上の基準に基づき実施する。

(イ) 設備機器

設 備 機 器	仕 様	数 量
消火器具	消火器	7
自動火災報知器	予備電源	1
	受信機・中継器	1
	感知器	33
	発信機	2
	警音装置	2
火災通報装置	予備電源	1
誘導灯	避難口誘導灯・誘導標識	4

オ 清掃業務

(ア) 床清掃（長尺塩化ビニールシート、約 200 m²、年 1 回）

ポリッシャー、モップ等で、洗剤洗浄後、ワックス仕上げとする。

(イ) 窓ガラス清掃（約 70 m²、年 1 回）

両面を洗剤洗浄後、乾拭きする。

なお、施設内は、日常的に清掃する。

カ 流木回収・処理業務（指定管理料には含まれていない業務）

湖面及び湖面際に分散した流木を作業船及び網等を用いて回収した後、バックホーによりダンプトラックに集積し、一般廃棄物として、再資源化施設又は廃棄物処理場に搬出し、処理する。

キ 除草・雪囲い設置業務

(ア) 管理棟周辺（駐車場及び法面等）を除草する。（約 4,000 m²、年 2 回）

(イ) 管理棟に雪囲いを設置・撤去する。（約 35 m²、サッシ廻り）

ク 審判艇引上等業務

(ア) カヌー競技場利用期間（4 月から 11 月）終了後、審判艇 2 艇及び作業艇 1 艇を湖面から引上げ、艇庫に搬入し、湖面利用再開時に湖面に搬出する。また、建物の外に出ているカヌー等の備品も、艇庫に搬入する。

(イ) 船舶安全法に基づく船舶検査を受ける。（3 年に 1 回（次回、令和 8 年度））

ケ 除雪業務

カヌー競技場休業期間（12 月から翌年の 3 月）中、必要となる施設・設備の除雪業務については、県と協議のうえ対応する。

(5) 利用の承認及び利用料金の徴収等

ア 利用承認申請の受付及び案内誘導を行う。

イ 利用承認に当たっては、次の基準により承認する。

(ア) 専用（団体）利用

県、県教育委員会、県スポーツ協会及びその加盟団体が、主催、共催、又は主管するスポーツ大会及び各種事業を優先させる。

(イ) 一般利用

専用利用の承認状況を鑑みて承認することとし、富山県公共施設予約システム及び電話での予約等により、随時承認する。

ウ カヌー競技場の利用料金は、富山県営体育施設条例第 11 条第 2 項の規定により、同条例の別表第 3 で定める金額の範囲内において指定管理者が県の承認を受けて定めるものとし、徴収した利用料金は、指定管理者の収入とする。

エ 指定管理者は、県の承認を受けて定めた基準により利用料金を減免することができるものとし、この場合は事業計画書によりその基準を提案すること。

オ 利用者の活動等の便宜を図るため、施設備え付けの備品等を貸し出す。また、設営・利用方法がわからない利用者への支援を行う。

(6) 湖面利用の留意点

ア 「上市川第二ダム水面利用に関する協定書」に基づき、安全管理に十分留意し、湖面を利用する。

イ 毎年、利用計画書及び利用実績書を作成する。

ウ 湖面の水位変動に応じて、コースワイヤーを適当なテンションに調節する。

エ コース設営の必要な大会においては、設営の指導・協力を行う。

(7) 宿泊室の供用

ア 宿泊者があるときは、宿直者を 1 人以上配置する。

イ 宿泊者に対し、入所の説明を行い、購入又はリースによるシーツ、枕カバー等、リネン類を貸し出す。

ウ リネン類は、洗濯、消毒の上、清潔に保っておく。

4 その他留意事項

(1) 県からの要請への協力

ア 県から、施設の管理運営及び施設の現状等に関する調査の指示等があった場合には、迅速、誠実、かつ積極的な対応を行うこと。

イ その他、県が実施又は要請する業務（県有建築物の定期点検及び緊急安全点検、防災訓練、行・催事イベント、要人案内、当該施設の管理に関する会議、監査・検査等）への参加・支援・協力・実施を積極的かつ主体的に行うこと。

(2) 県と指定管理者で協議・調整を要する事項

次の事項については、県と指定管理者が調整又は協議を行うこと。

- ア 施設の管理運営に係る各種規程・要綱等を作成する場合
- イ 本仕様書に記載のない事項